議案第4号

令和5年度宇和島市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第2号)

令和5年度宇和島市の住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算(第2号)は、次に定めるところによる。

(歳入歳出予算の補正)

- 第1条 歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ1,232千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ186,332千円とする。
- 2 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予 算補正」による。

令和6年2月20日提出

宇和島市長 岡原 文彰

第1表 歲入歲出予算補正

歳入

(単位:千円)

款	項	補 正 前 額	今回補正額	合 計
2. 繰入金		4, 669	177, 401	182, 070
	1. 一般会計繰入金	4, 669	177, 401	182, 070
3. 諸収入		182, 533	△178, 633	3, 900
	1. 貸付金元利収入	182, 533	△178, 633	3, 900
歳	合 計	187, 564	△1, 232	186, 332

歳出

(単位:千円) 款 項 補 正 前 額 今回補正額 計 合 1. 事業費 5, 115 △1, 232 3,883 1. 事業費 5, 115 △1, 232 3,883 3. 繰上充用金 181, 949 0 181, 949 1. 繰上充用金 181, 949 181, 949 0 歳 出 合 計 187, 564 △1, 232 186, 332

補正予算に関する説明書

- 1 歲入歲出補正予算事項別明細書
 - (1) 総括
 - (2) 歳 入
 - (3) 歳 出

歳入歳出補正予算事項別明細書

1 総括

(歳 入)

	款		款			款			補正前額	今回補正額	合 計	備	考
2. 繰入金				4, 669	177, 401	182, 070							
3. 諸収入				182, 533	△178, 633	3, 900							
歳	入	合	計	187, 564	△1, 232	186, 332							

(歳 出)

(単位:千円) 補 予 算 額 財 源 内 正 \mathcal{O} 訳 特 款 補正前額 今回補正額 合 計 定 財 源 一般財源 国県支出金 地 方 債 そ 0) 他 1. 事業費 5, 115 △1, 232 3,883 $\triangle 584$ $\triangle 648$ 3. 繰上充用金 181, 949 181, 949 △178, 049 178, 049 0 歳 出 合 計 187, 564 △1, 232 186, 332 $\triangle 178,633$ 177, 401

2 歳 入

(款) 2. 繰入金 (単位:千円) (項) 1. 一般会計繰入金 節 補正前額 今回補正額合 計 説 目 明 分 金 額 X 1. 一般会計繰入金 4,669 177, 401 182,070 1. 一般会計繰入金 177, 401 一般会計繰入金(償還事務費分) $\triangle 1,232$ 一般会計繰入金(収入未済分) 178,633 計 4,669 177, 401 182, 070

	(///// 01 11 1/2/)			1 2 1						- 124 · 1 · 17
	П	建工 张 	人口法工短	^ ∌l.	節			≅K	00	
	Ħ	佣 止 削 領	今回補正額	合 計	区 分	金	額	説	明	
	1. 貸付金元利収入	182, 533	△178, 633	3, 900	1. 住宅新築資金等貸		△178, 633	住宅新築資金等貸付金元利収入(現年度	分)	. =
					付金元利収入					△584
								住宅新築資金等貸付金元利収入(滞納繰	越分)	A 170 040
-										△178, 049
	計	182, 533	△178, 633	3, 900						
L										

3 歳出

計

5, 115

 $\triangle 1,232$

3,883

(款) 1. 事業費 (項) 1. 事業費 (単位:千円) 補 額 財 正 源 内 訳 \mathcal{O} 節 補正前額 今回補正額 合 計 定 説 明 目 一般財源 国県支出金 地 方 債 そ の他 分 区 金 額 1. 住宅新築資金等 償還推進事業費 5, 115 $\triangle 1,232$ 3,883 2. 給料 一般職給 1人 \triangle 181 $\triangle 584$ $\triangle 648$ $\triangle 181$ 3. 職員手当等 △285 住居手当 $\triangle 270$ 通勤手当 $\triangle 15$ 8. 旅費 △40 普通旅費 $\triangle 40$ 11. 役務費 △712 通信運搬費 $\triangle 22$ 手数料 $\triangle 81$ 不動産競売申立手数料 $\triangle 609$ 18. 負担金補助及び 交付金 △14 職員研修負担金 $\triangle 14$

 $\triangle 584$

 $\triangle 648$

(款) 3. 繰上充用金 (項) 1. 繰上充用金 (単位:千円) 内 正 額 財 \mathcal{O} 節 補正前額 今回補正額 合 説 目 明 一般財源 国県支出金 地 方 債 そ の 他 区 分 額 金 1. 繰上充用金 181, 949 181, 949 $\triangle 178,049$ 178, 049 (財源更正) 計 181, 949 181, 949 $\triangle 178,049$ 178, 049

1 一般職

(1)総括

(住宅新築資金等貸付事業特別会計)

区分	職員数		給	· 費		共 済 費	合 計	備考
区分	(人)	報 酬 (千円)	給 料 (千円)	職員手当 (千円)	計 (千円)	(千円)	(千円)	畑 芍
補 正 後	1		2, 270	944	3, 214	654	3, 868	
補 正 前	1		2, 451	1, 229	3, 680	654	4, 334	
比較	0		△ 181	△ 285	△ 466	0	△ 466	

	区	分	住居手当 (千円)	通勤手当 (千円)	時間外勤務手当 (千円)	期末手当 (千円)	勤勉手当 (千円)
職員手当	補	正 後	0	36	15	487	406
の内訳	補	正前	270	51	15	487	406
	比	較	△ 270	△ 15	0	0	0

備考: ()内は、短時間勤務職員及び会計年度任用の職を占める職員であつて、その一週間当たりの通常の勤務時間が常時勤務を要する職を占める職員の一週間当たりの通常の勤務時間に比し短い職員について外書き

ア 会計年度任用職員以外の職員

区	八	職員数		給	費		共 済 費	合 計	備 考
	分	(人)	報 酬 (千円)	給 料 (千円)	職員手当 (千円)	計 (千円)	(千円)	(千円)	1
補正	後	1		2, 270	944	3, 214	654	3, 868	
補正	前	1		2, 451	1, 229	3, 680	654	4, 334	
比	較	0		△ 181	△ 285	△ 466	0	△ 466	

	区	分	住居手当 (千円)	通勤手当 (千円)	時間外勤務手当 (千円)	期末手当 (千円)	勤勉手当 (千円)
職員手当	補	正後	0	36	15	487	406
の内訳	補	正前	270	51	15	487	406
	比	較	△ 270	△ 15	0	0	0

備考:()内は、短時間勤務職員について外書き

(2) 給料及び職員手当の増減額の明細

区分	増減額(千円)	増 減 事 由 別 内 訓	引 (千円)	説明	備考
				給与改定の状況	
		給与改定に伴う増減分	13	給与改定率	1.1%
				給与改定実施時期	9 令和5年4月1日
給 料	△ 181			職員数の異動状況	
		異動等に伴う増減分	△ 194	補正前	1人
		共 男 寺に 件 ソ 堉 楓 万	△ 194	補正後	1人
				増減	
		住居手当の増減分	△ 270	制度改正に伴うもの	千円
職員手当	△ 285	比西于目90指 成 为	△ 210	異動等に伴うもの	△ 270 千円
概只于日	△ 200	通勤手当の増減分	△ 15	制度改正に伴うもの	千円
		世 <u></u> 到十日 ジ 相	△ 15	異動等に伴うもの	△ 15 千円

(3) 給料及び職員手当の状況

ア 職員1人当り給与

	区 分	行政職	技能労務職	医療職 (一)	医療職 (二)	医療職 (三)
	平均給料月額(円)	369, 950				
6年1月1日現在	平均給与月額(円)	376, 450				
	平均年齢 (歳)	53歳 7月	歳 月	歳月	歳 月	歳月
	平均給料月額(円)	203, 127				
5年1月1日現在	平均給与月額(円)	203, 127				
	平均年齢 (歳)	29歳 6月	歳月	歳月	歳月	歳月

イ 初任給

区 分	学 歴	行政職 (円)	技能労務職 (円)	医療職 (一) (円)	医療職 (二) (円)	医療職(三) (円)
6年1月1日現在	高 校 卒	166, 600	164, 000			183, 500
0年1月1日先生	大 学 卒	196, 200		317, 200	202, 800	228, 500

ウ 等級別職員数の状況

区 分	級	行项	文職	技能	労務職 一	医療職	₹ (一)	医療職	₹ (二)	医療職	(三)
区 分	形义	職員数(人)	構成比(%)	職員数(人)		職員数(人)	構成比(%)	職員数(人)	構成比(%)	職員数(人)	構成比(%)
	7級										
	6級										
	5級										
6年 1月 1日現在	4級	1	100.0								
0十 1月 1日 先任	3級										
	2級										
	1級										
	計	1	100.0								
	7級										
	6級										
	5級										
5年 1月 1日現在	4級										
34 1月 1日 先任	3級										
	2級										
	1級	1	100.0								
/#c.+x	計	1	100.0								

備考:()内は、短時間勤務職員について外書き

(級別の標準的な職務内容)

(水) カー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー・アー	H /	
	7級	部長の職務
	6級	課長の職務
	5級	課長補佐の職務
行政職	4級	係長、専門員の職務
	3級	主任の職務
	2級	主査の職務
	1級	主事、技師、事務員の職務

工 昇給

区分		合 計		代 表 的	な職種			
	△ N		П П	行政職				
	職員数	(A)	(人)	1	1			
	昇給に係る職員数	(B)	(人)	1	1			
		1号給	(人)					
補		2号給	(人)					
正		3 号給	(人)					
	号 給 数 別 内 訳	4 号給	(人)	1	1			
後		6 号給	(人)					
		8 号給	(人)					
			(人)					
	比 率 (B)/(A)		(%)	100. 0	100. 0			
	職員数	(A)	(人)	1	1			
	昇給に係る職員数	(B)	(人)	1	1			
		1号給	(人)					
補		2号給	(人)					
正		3 号給	(人)					
	号 給 数 別 内 訳	4号給	(人)	1	1			
前		6 号給	(人)					
		8号給	(人)					
			(人)					
	比 率 (B)/(A)		(%)	100.0	100. 0			

オ 期末手当・勤勉手当

区分	支 給 期 別	川支給率	支給率計 (月分)	職制上の段階、 職務の級等によ	備考
	6 月 (月分)	12月(月分)	文和子时(万万)	る加算措置	
補 正 後	(1. 15) 2. 20	(1. 20) 2. 30	(2. 35) 4. 50	有	
補 正 前	(1. 15) 2. 20	(1. 15) 2. 20	(2. 30) 4. 40	有	
国の制度	(1. 15) 2. 20	(1. 20) 2. 30	(2. 35) 4. 50	有	

備考:()内は、再任用職員の支給率

カ 定年退職及び勧奨退職に係る退職手当

区分	20年勤続の者	25年勤続の者	35年勤続の者	最高限度	その他の加算措置等	備考	
区 为	(月分)	(月分)	(月分)	(月分)	ての他の加昇相直守	VH	
支給率等	24. 586875	33, 27075	47. 709	47. 709	定年前早期退職特例措置		
文 和平守	至于 24. 360673	33. 21013	47.709	41.709	(2%~20%加算)		
国の制度	24. 586875 33. 27075	33. 27075	47. 709	47. 709	定年前早期退職特例措置		
(支給率等)	24. 000070	33. 21013			(2%~45%加算)		

キ 地域手当

支 給 対 象 地 域		
支 給 率 (%)		
支 給 対 象 職 員 数 (人)		
国の指定基準に基づく支給率 (%)		

ク 特殊勤務手当

区	/\	全職種	代	表 的 な 職	種
	分	土、柳、作			
給料総額	こ 対 す る 比 率 (%)				
支 給 対 象 ^職 (令和5年12	戦員の比率 (%) 月1日現在)				
代表的な特殊勤務手当	支給額の多い手当				
の名称	対象職員の多い手当				

ケ その他の手当

区 分	国の制度との異同	差異の内容
扶 養 手 当	同	
住 居 手 当	同	
通 勤 手 当	同	